

## 2019年度

## 事業報告書

2019(令和元年)年10月1日から2020(令和2年)年9月30日まで

特定非営利活動法人 未来をつなぐ子ども資金

### 1 事業の成果

私たちの未来は、子どもたちが担っています。そして私たち大人は、未来を託すべき子どもたちの健全な成長に必要な、より良い地域社会をつくり出す責任を負っています。

幸い地域社会には、より良い社会環境の実現を願ってしかも生きるよろこびをもってボランティア活動に力を尽くす人たちがいます。そういう人たちで溢れるまちになれば地域社会は良くなります。私たち「NPO法人 未来をつなぐ子ども資金」は、多くの人が楽しみながら少しずつ資金を出し合い、ボランティア活動を支援するしくみづくりを行っています。

社会貢献事業としてボランティア活動に資金援助する企業も少なくありませんが、特定の企業→ボランティア団体という一方通行の支援の流れでは、いつかそのエネルギーが枯渇してしまうおそれがあります。しかし、市民が行うボランティア活動を市民自身が支援するという循環の流れがあれば、より良い社会づくりの半永久的システムとなり得ます。

また、ボランティア活動の恩恵を受ける市民が積み上げた支援資金を、更に別のボランティア活動や団体に提供するに際して、提供先を市民の意思で決めるというしくみは、役に立つと市民に評価されるボランティア活動を量的、質的に充実させる自律性のある社会の実現を促すことになると考えています。

私たち「NPO法人 未来をつなぐ子ども資金」はこのように支え合うよろこびおよび資金が循環し、拡大して行くしくみが社会に定着することを願って活動しています。

こうした私たちの活動をわかりやすく表現するためVisionを以下のように策定しました。

子どもたちのために活動している団体が市民から共感され、団体の活動が自発的に続きさまざまな子どもたちの成長がサポートされている地域の実現

私たちは、具体的に次の事業を展開しています。

#### (1) 「杉並チャリティー・ウォーク」の実施

多くの人が楽しみながら少しずつ資金を出し合う手段として設立当初より“杉並チャリティー・ウォーク”なるイベントを毎年企画し実施している。“杉並チャリティー・ウォーク”は、杉並区内に定めたコースを参加費（大人500円、小学生以下100円）を拠出して所定のコースをウォーキングするものである。第18期は2019年8月より実行委員会を立ち上げ、準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発出を受け、杉並チャリティー・ウォーク2020は中止といたしました。。

#### (2) 地域における子どもの健全育成活動への資金助成の実施

第19期は、団体立ち上げ支援に2団体、新たな活動支援に1団体が助成応募しました。新たな活動支援に応募した団体については、一次選考において申請活動に関する確認事項が提示され、当該

団体に照会したところ応募要件を満たすことができないとして応募を辞退されました。団体立ち上げ支援に応募した2団体はいずれも応募資格が認められましたので、当該2団体を公開選考会の対象としました。

助成団体の選考は公開で行い2団体に助成した。「立ち上げ時の支援」コースと「新たな活動」コースの二つの支援メニューで募集した。

選考の方法は選考委員会を構成し（選考委員9名のうち当法人の役員は3名のみで他6名は公募による者3名、外部の学識経験者3名）、選考も「公開」で行う。即ち応募団体関係者のみでなく一般希望者にも開放されている。これは公平性を担保するためばかりでなく各団体の活動状況をお互いに知りあう狙いもあるためである。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【84,1】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
杉並チャリティー・ウォーク	コロナ禍の影響により中止						
助成事業	杉並区内で展開されている子どもの健全育成活動の中から選定した活動に対し、その活動を行っている団体に、杉並チャリティー・ウォークの参加費として集められた資金を助成金として提供する。	2020年9月26日	阿佐谷地域区民センター第6集会室	主催者側5名	対象団体2団体	参加者等15名	100千円 (助成金)